

北海道保健サークルの歩み

テーマ	年	講演	分科会	講座
子どもの生きる力を守り育てる学校保健の確立	1969年 (S44年) 第1回集会 (小樽塩谷)	<研究テーマ> 1、学校保健の内容 2、養護教諭の研修のあり方 3、保健教育の勧め方	※分科会なし 4、新指導要領の問題点 5、学校保健と地域の結びつき 6、健康阻害の状況	
	1970年 (S45年) 第2回集会 (有珠)	<討議の柱> 1、健康をめぐる地域の実態 2、公費負担の問題	※分科会なし 3、地域・学校における養護教諭の役割 4、教職員の健康実態について	
	1971年 (S46年1月) 第3回集会 (富良野)	<討議の柱> 1、各地の実態交流 2、地域・学校における養護教諭の役割	※分科会なし	
	1971年 (S46年8月) 第4回集会 (塩谷)	「子どもに多い疾患」 勤医協札幌病院 守屋敬純氏 ◆全養サ第1回 東京(64名)	<討議の柱> ※分科会なし 1、各地の実態交流 2、鈴木レポートから ～性教育・公害・学校給食など～ 3、保健指導の体系化	
	1972年 (S47年1月) 第5回集会 (釧路)	<研究テーマ> 1、公害教育 2、性教育	※分科会なし 3、保健教育 4、環境衛生	
	1972年 (S47年8月) 第6回集会 (旭川)	「子どもの健康管理」 藤井善友氏 ◆全養サ第2回 (200余名)	<討議の柱> ※分科会なし 1、子どもの健康状態 2、保健学習・保健指導 3、自治体交渉等集団の中でかち得た体験	
	1973年 (S48年) 第7回集会 (函館)	「公衆衛生及び食品公害について」 函館市保健衛生課長 松谷 勇氏 ◆全養サ第3回 和歌山(90余名)	1、望ましい健康診断の在り方 2、日常の執務・実践 3、教師集団へのアプローチ 4、各サークルの実状交流	
	1974年 (S49年) 第8回集会 (北見)	「民主的な学校教育と養護教諭の役割」 高教組書記長 児玉健次氏 ◆全養サ第4回 名古屋(400余名)	1、各地の子どもの健康実態 2、日常の執務の中から、実践の中から 3、自治体交流でかち得た経験 4、各サークルの活動交流	
	1975年 (S50年) 第9回集会 (十勝)	「養護教諭の仕事」 東京芽の会 小林静枝氏	1、各地の子どもの健康状態 2、日常執務の中でかち得た実践報告 3、集団の中でかち得た経験(保健主事関係) 4、各サークルの活動交流	
	1976年 (S51年) 第10回集会 (小樽)	「今日の教育の在り方と生活指導」 北大教育学部 竹田正直氏 ◆全養サ第6回 箱根(650余名)	1、各地の子どもの健康実態 2、職場で抱えている問題 3、養護教諭の専門性を高めるために 4、サークル活動の発展をめざして	1、「養護教諭」 教育大学旭川分校 池田哲子氏 2、「民主的学校教育をめざす 養護教諭の役割」 高教組書記長 児玉健次氏 3、「カウンセリングの基礎的理論」 道立衛生センター 佐々木敏明氏 4、「歯科教育をすすめるために」 小樽保健所歯科医 伊藤晴一氏 5、「すこやかな発達を願って」 勤医協札幌病院 藤居良子氏
地域に根ざした健康教育の創造 をめざして	1977年 (S52年) 第11回集会 (宗谷)	「現代の子どもをどうとらえるか」 北海高校 保原東一郎氏	1、学校保健の組織活動 2、健康教育の実践 3、養護教諭の専門性を高めるために 4、サークル活動の発展をめざして	1、「養護教諭の評価」 教育大学旭川分校 池田哲子氏 2、「子どもの健康保障と医療体制」 勤医協旭川病院 萩原信宏氏 3、「広報活動の進め方」 高教組 吉川正伸氏

テーマ	年	講演	分科会	講座
地域に根ざした健康教育の創造をめざして	1978年 (S53年) 第12回集会 (旭川) 全養サミニ版	「現代の子どもたちをどうとらえるか」 高生研 田村宣征氏 ◆全養サ第8回 和歌山(650余名)	1、みんなでつくる学校保健 2、健康教育の実践 ～身体の認識を育てる実践～ 3、子どもの健康保障と医療体制 4、養護教諭の専門性を高めるために 5、サークル活動の発展をめざして	1、「養成制度のあり方」 教育大学釧路分校 佐藤 理氏 2、「すこやかな発達を願って」 勤医協旭川病院 萩原信宏氏 3、「障害児の発達と健康」 全障研 井理秀明氏 4、「食生活を考える」 旭川市消費者協会 菅沼あさ氏 5、「効果的な広報活動のすすめ方」 作文の会 佐藤良一氏 6、「体力を問い直す」 教育大学旭川分校 大塚美栄子氏
	1979年 (S54年) 第13回集会 (旭川) 全養サと合同	「今の子どもの心とからだ」 岐阜県矢作町立上小学校 川上康一氏 ◆全養サ第9回 旭川(550余名)	1、子どもの実態とその取り組み 2、性教育をすすめるために 3、健康認識を高める指導 4、学校保健の組織活動を すすめるために 5、子どもの健康管理を すすめるために 6、養護教諭をめぐる諸条件	1、「北海道民衆史と人権」 歴教協 小池喜孝氏 2、「自主的児童会活動」 名寄女子短大 川上信夫氏 3、「サークル活動の発展をめざして」 4、「障害児の発達と健康教育」 福祉専門学校 埴瑠美子氏 5、「食品公害と健康破壊」 大阪健康を守るサークル 大塚睦子氏
	1980年 (S55年) 第14回集会 (釧路)	「発達の科学と子どもの健康」 札幌商科大学 小出真美氏 ◆全養サ第10回 東京(990余名)	1、子どもの実態とその取り組み 2、健康認識を高める指導 3、学校保健の組織活動を すすめるために 4、養護教諭をめぐる諸問題 5、サークル活動の発展をめざして	1、「生活綴り方」 標茶町立北片無去小学校 菊池義夫氏 2、「カウンセリング」 釧路市立病院 川村幸次郎氏 3、「医師から見た子どもの病院」 勤医協札幌病院 後木健一氏 4、「家庭の中の子ども」 全生研常任委員 谷 光氏 5、「運動と体力」 名寄女子短大 毛馬内常夫氏
	1981年 (S56年) 第15回集会 (洞爺)	「発達の科学と子どもの健康PART2」 札幌商科大学 小出真美氏 ◆全養サ第11回 三重(740余名)	1、子どもの実態とその取り組み A学校における子どもの実態 B心身づくり 2、健康教育をどうすすめるか A健康認識を高める指導 B父母とともに進める健康教育 3、養護教諭をめぐる諸問題 A大規模校での取り組みと課題 B小規模校での取り組みと課題	1、「大脳生理と子どもの実態」 勤医協室蘭病院 浅沼建樹氏 2、「学校における問題傾向児の指導」 白老町立萩野小学校 野口良行氏 3、「子どもの心とからだを むしばむもの」 夕張市幌南中学校 北志道子氏 4、「児童会活動と理論と実践」 東神楽町東聖小学校 渋谷和子氏
	1982年 (S57年) 第16回集会 (留萌)	「発達の科学 PART3」 元旭川市大町小学校 内沢千恵氏	1、子どもの実態とその取り組み A学校における子どもの実態 B心身づくり 2、健康教育をどうすすめるか A健康認識を高める指導 B父母とともに進める健康教育 3、養護教諭をめぐる諸問題	1、「婦人の疾患と生理リズム」 勤医協札幌病院 佐藤利一氏 2、「留萌の教育」 羽幌町羽幌小学校 阿部紘司氏 3、「人体の砂糖づけとその影響」 旭川農業高校 三浦恵美子氏 4、「健康教育を高める指導から学んだこと」 厚岸町太田小学校 溝口啓子氏
	1983年 (S58年) 第17回集会 (美唄)	「教育とは生徒にほれぬこと」 北海道厚岸水産高校 両角憲二氏	1、子どもの実態とその取り組み A学校における子どもの実態 B心身づくり 2、健康教育をどうすすめるか A健康認識を高める指導 B父母とともに進める健康教育 3、養護教諭をめぐる諸問題	1、「十代の性をめぐる諸問題」 勤医協札幌病院 佐藤利一氏 2、「非行問題行動と子どもの発達」 深川市深川中学校 千葉真嗣氏 3、「今の子どもをめぐる食生活の問題」 名寄女子短大 木村登夫氏 4、「養護教諭の仕事」 訓子府高校 鈴木雅子氏

テーマ	年	講演	分科会	講座
地域に根ざした健康教育の創造をめざして	1984年 (S59年) 第18回集会 (函館)	「性教育の実践から思うこと」 ～20年間の性教育現状から～ 北星学園高校 五十嵐 新氏	1、子どもの実態とその取り組み 2、健康認識を高める指導 3、養護教諭をめぐる諸問題	1、「子どもの微症状とその対応」 勤医協札幌病院 守屋敬純氏 2、「渡島の教育から学ぼう」 (児童文化と教育)」 大野町島川小学校 福島 康氏 3、「学校給食を見直してみよう」 教育大学函館分校 畑井朝子氏 4、「登校拒否生徒とのかかわりから学ぶ」 石狩高校 石岡岡祥子氏
	1985年 (S60年) 第19回集会 (札幌)	「養護教諭の教育実践の創造」 ～子どもを心とからだの主人公に 育てるために～ 東京葛飾区高砂中学校 富山芙美子氏	1、子どもの実態とその取り組み 2、健康認識を高める指導 3、教師集団、父母とともに進める 健康教育 4、養護教諭をめぐる諸問題	1、「心に問題を持つ児童・生徒の 援助について」 精神科医熊谷病院長 熊谷福夫氏 2、「発達のゆがみにいどむ 学校づくりの課題」 札幌北稜高校 戸田輝夫氏 3、「学校行事を通して 身体認識をどう育てるか」 札幌商業高校 坂本 勲氏
	1986年 (S61年) 第20回集会 (札幌)	北海道保健サークル 第20回集会記念 「養護教諭の教育実践の創造PART2」 東京芽の会 富山芙美子氏 ◆全養サ第16回 青森(667名)	※分科会・講座なし <第20回集会祝賀会> 感謝状贈呈 鈴木 雅子氏 清水 幸子氏 高島いく子氏	
	1987年 (S62年) 第21回集会 (松山) 参加人数102人	「養護教諭の教育実践の創造PART3」 ～健康診断の変遷と私たちの役割～ 東京芽の会 小林静枝氏 ◆全養サ第17回 岐阜(800余名)	1、子どもの実態とその取り組み 2、健康認識を高める指導 3、教師集団、父母とともに進める 健康教育 4、養護教諭をめぐる諸問題	1、「スポーツ障害について」 千歳整形外科病院長 佐藤 貢氏 2、「小児科の不定愁訴をめぐる」 道北勤医協 鈴木和仁氏 3、「学級における性教育実践」 上ノ国小学校 岸 晴美氏
	1988年 (S63年) 第22回集会 (温根湯) 参加人数110人	「養護教諭の教育実践の創造PART4」 ～今養護教諭に求められているもの～ 東京芽の会 中央区築地小学校 酒井繁子氏 ◆全養サ第18回 神奈川(904名)	1、子どもの実態とその取り組み 2、健康認識を高める指導 3、教師集団、父母とともに進める 健康教育 4、養護教諭をめぐる諸問題	1、「小児外科から見た健康問題の変遷」 勤医協札幌病院 守屋敬純氏 2、「教育実践としての 養護教諭の仕事求めて」 比布中学校 渋谷和子氏 3、「網走における『野外教育学校』実践」 高栄中学校 松岡義和氏
	1989年 (H1年) 第23回集会 (稚内) 参加人数106人	「子どもたちの発達に心をこめて」 ～4度(よたび)生まれる 新しい力に尊敬を～ 京都大学教育学部教授 田中昌人氏 ◆全養サ第19回 山形(661名)	1、子どもの実態とその取り組み 2、健康認識を高める指導 3、教師集団、父母とともに進める 健康教育 4、養護教諭をめぐる諸問題	1、「眼科外来に多く見られる疾患から」 稚内市立病院眼科 梯 彰弘氏 2、「子どもから学ぶ保健指導」 歌志内中学校 羽田美津子氏 3、「子どもを中心にした 楽しい学校づくり」 浜頓別浜頓別小学校 山下タカ氏
	1990年 (H2年) 第24回集会 (旭川) 参加人数115人	「子どもたちが生きる学校づくり」 ～すべての子どもの発達を願って～ 教育大学札幌分校講師スコレ札幌 栄花 寛氏 ◆全養サ第20回 東京(1404名)	1、子どもの実態とそのつかみ方 2、健康認識を高める指導 3、保健室を中心とした取り組み 4、養護教諭をめぐる諸問題	1、「喫煙防止」(防煙教育) 旭川医科大学公衆衛生学 望月吉勝氏 2、「保健室登校児と関わって」 札幌市新琴似緑小学校 松谷初代氏 3、「新学習指導要領について」 比布中学校 渋谷和子氏

テーマ	年	講演	分科会	講座
地域に根ざした健康教育の創造をめざして	1991年 (H3年) 第25回集会 (音更) 参加人数121人	「先生、からだのこと もっと教えて！」 ～子どもの要求に応えよう、 保健室で、教室で～ 長野県養護教諭サークル 「こだまの会」会長 坂口せつ子氏 ◆全養サ第21回 岡山(1119名)	1、子どもの実態とそのつかみ方 2、健康認識を高める指導 ～主に性教育～ 3、保健室を中心とした取り組み 4、養護教諭をめぐる諸問題	1、「地域医療計画について ～その狙いと問題点～ 十勝勤医協帯広病院総婦長 本川栄子氏 2、「教育実践の書き方入門」 『のびよ草』『保健室』の執筆経験から語る 長野県養護教諭サークル 「こだまの会」会長 坂口せつ子氏 3、「子育ては共育ち」 綴方学校たんばぼ主宰 新庄久芳氏
	1992年 (H4年) 第26回集会 (小樽) 参加人数133人	「今を生きる思春期の心」 ～子どもを見る目、育てる心～ 東京練馬区立石神井中学校 尾木直樹氏 ◆全養サ第22回 愛知(795名)	1、子どもの実態とそのつかみ方 2、①健康認識を高める指導 ～主に性教育～ 2、②健康認識を高める指導	1、「アレルギーを考える」 ～学校での対処を考える～ 勤医協札幌病院小児科医 渡辺一彦氏 2、「学ぶものを引き出す」 <司会者> 長野県養護教諭サークル 「こだまの会」会長 坂口せつ子氏 <レポート発表者> 十勝葦の会 戸田陽子氏 3、「全国から高校中退者を受け入れた 北星余市高校の5年間の実践」 北星学園余市高等学校 教諭(社会) 奥野輝夫氏
	1993年 (H5年) 第27回集会 (胆振) 参加人数138人	「ワクワク、ドキドキ すばらしい命と性」 岐阜大学教育学部 助教授 近藤真康氏 ◆全養サ第23回 高知(885名)	1、性教育 2、健康認識を高める指導 3、保健室を中心とした取り組み 4、養護教諭をめぐる諸問題	1、「子どもにからだ、命を大切に、 生きていく力を育てる 養護教諭の仕事求めて」 前全養サ研究推進委員 松田信子氏 2、「小児、学童の成長障害」 ～低身長、肥満、二次性徴の異常他～ 勤医協札幌病院 岡田 靖氏 3、「学校では多文化教育を」 ～アイヌ文化を通して学ぶこと～ 白老町白老小学校 小松輝子氏
	1994年 (H6年) 第24回集会 全養サ 北海道研究集会 第28回集会 (札幌) 参加人数824人	「地球人として生きる」 シナリオライター 小山内美江子氏	1、健康認識を育てるために 2、保健室を中心とした取り組み 3、保健の組織活動をすすめるために 4、子どもと養護教諭をめぐる情勢を どうつかみ、実践するか	1、「民謡ソーラン節」 ～みんなで踊ろうソーラン節～ こぶし座 2、「子どもたちの豊かな成長を願って」 ～不登校・登校拒否の子どもたちと かかわりながら～ スコレー札幌 栄花 寛氏 3、「いま、養護教諭に問われるもの」 一橋大学教授 藤田和也氏 4、「声なき声を聞きながら」 ～意識障害の患者とともに 歩んだ20年～ 札幌麻布脳神経外科病院 看護部長 紙屋克子氏 5、「先住民族アイヌの生活と文化を学ぶ」 ウタリ協会理事 小川隆吉氏
	1995年 (H7年) リレー学習会 ※北海道集会は お休みしました。	一橋大学教授 藤田和也氏を招いて道内8カ所を結ぶリレー学習会を実施 北見(オホーツク) 1、レポート討議①定時制高校の実態②養護学校の実態 2、講演「健康診断について」 釧路(飛く会) 1、講演「今、保健室・養護教諭について学ぶ」 2、レポート討議-レポートの深め方を学ぶ- 帯広(十勝葦の会) レポート討議 白老(胆振) レポート討議-未発達な子どもの心の実態を探る- 大沼(渡島網の会) 1、講演「健康診断に関して」 2、話し合い 小樽(芋の会) レポート討議-エイズ(性の指導)-0からの出発 札幌(ポプラ) 1、レポート討議-昼の校内放送を利用した保健指導- 2、ミニ講演「アメリカ滞在中から」 旭川(葉の会) 1、講演「今、養護きょううゆに問われるもの」 2、レポート討議-父母とともに行った性の学習- ◆全養サ 第25回 兵庫(788名)		

テーマ	年	講演	分科会	講座
地域に根ざした健康教育の創造をめざして	1996年 (H8年) 第29回集会 (釧路) 参加人数122人	「人が育つということ」 北海道大学教育学部 教授 田中孝彦氏 ◆全養サ第26回 埼玉(899名)	1、保健室実践 2、組織活動 3、今、学校保健は	1、「ワクワク・ドキドキ保健指導」 大分大学教育学部助教授 住田 実氏 2、「ワクワク・ドキドキ思春期」 北海道衛生学院非常勤講師 丸山俊蔵氏
	実践の広場		フリーマーケット	
		「からだ学習を始めて」 「パネルシアター」 「保健指導と読み聞かせ」 「ボランティア」 「お産は母と子の共同で！」 「目の指導をどう入れて、どのような内容で担任に返したか」 「気軽に出入りできる保健室」	網の会 小林 恵子氏 葉の会 小北千津子氏 輪っ子 松山 和子氏 翔く会 佐々木啓子氏 南宗「幹」 嶋貫弘子氏 葉の会 平田実千子氏 胆 振 松原 迪子氏	芋の会・希の会・オホーツク 十勝葦の会・ポプラ・翔く会
	1997年 (H9年) 第30回集会 (函館) 参加人数 人	「今、教師に求められること」 ～いのちを大切に作る教育を～ 国学院大学講師 能重真作氏 ※30回記念セレモニー (交流の中で) 鈴木 雅子氏 岩辺 京子氏 山田美知子氏 ◆全養サ第27回 大阪(645名)	1、保健室実践 2、組織活動 3、今、学校保健は	1、「からだってすごいね。 生きる力を育てるからだの教育」 全養サ研究推進委員長 岩辺京子氏 2、「人間らしく生きるために」 ～大脳生理学お立場から考える～ 元函館少年刑務所 教育専門官 広瀬 努氏
	実践の広場		フリーマーケット	
		「ブラボーな龍平くんを応援 実行委員会のあゆみ」 「0-157検便から児童の排便リズムを考える」 「掲示物の構想を練る」 「手軽にできる、誰もがができる救急処置とは。 ちょっとちがう、保健室でのちょっとした手当」 「失敗も実践のうち!! わたし、こんな失敗しちゃいました」	葦の会 寺嶋理恵子氏 芋の会 須川由美子氏 オホーツク 宮田千恵子氏 輪っ子 種市 倫江氏 翔く会 淵本あゆみ氏	輪っ子・芋の会・十勝葦の会 渡島網の会・胆振保健サークル 葉の会・ポプラ・松山あしの会
	1998年 (H10年) 第31回集会 (空知) 参加人数112人	「子どもの心のさげびを受け止めて」 中央大学講師 坂本光男氏 ◆全養サ第28回 京都(950名)	1、保健室実践 2、組織活動 3、今、学校保健は	1、「更年期とメンタルヘルス」 札幌幌南病院助産婦 坂井かね子氏 2、「精神保健相談を通して 見えてくる学校」 道立精神保健福祉センター 相談部長 阿部幸弘氏 3、「歯がいのち～動物の生き方から学ぶ～」 旭川市旭山動物園 園長 小菅正夫氏
	実践の広場		フリーマーケット	
		「健康集会脚本集の紹介」 「小さな親切、大きなお世話?」 保護者向けお便りのちょっとした工夫～ 「おてがるほけん指導」 「体のクイズ・スタンプラリー」	岩見沢市第二小学校 田中敦子氏 翔く会 淵本あゆみ氏 輪っ子 伊藤かよ子氏 ポプラ 鈴木みさき氏	
	1999年 (H11年) 第32回集会 (留萌) 参加人数 98人	保健室を「医療の場」から「教育の場」へ ～集団で支える心の援助システム～ 立命館付属中・高校 養護教諭 中坊伸子氏 ◆全養サ第29回 宮城(748名)	1、保健室を中心とした取り組み 2、保健の組織活動をすすめるために 3、今、学校保健は	1、「医療の最新情報を学ぶ」 ～産婦人科の周辺～ 日鋼記念病院産婦人科医師 牟禮一秀氏 2、「子どもたちは本当に崩れているのか」 ～子供・親・教師・学校をめぐる～ 札幌学院大学教授 富田充保氏
	実践の広場		フリーマーケット	
		「健康の広場」の教材 「初めての出会いのご挨拶」「健診用グッズ」 「ペットボトルで掲示物」 「健康指導で使ったビデオ一挙公開」 「折り紙を利用した掲示物の作成」	葉の会 北原康子氏 葉の会 渋谷和子氏 輪っ子 寺岡敬子氏 ポプラ 齊藤百合子氏 赤平市茂尻小学校 足立千恵子氏	輪っ子・ポプラ・胆振保健サークル オホーツク・葉の会・松山あしの会 芋の会

テーマ	年	講演	分科会	講座
地域に根ざした健康教育の創造をめざして	2000年 (H12年) 第33回集会 (松山) 参加人数 93人	「子どもを発達の視点でとらえる」 ～心の援助パート2～ 立命館付属中・高校 養護教諭 中坊伸子氏 ◆全養サ第30回 東京(850名)	1、保健室を中心とした取り組み 2、保健の組織活動をすすめるために 3、今、学校保健は	1、「みちのく・まんだら」 みやぎ民話の会 小野和子氏 2、「フリースペース自由高原の子どもたち」 自由高原スタッフ 長谷部建夫氏 函館登校拒否と教育を考える親の会 野村俊幸氏
		実践の広場		フリーマーケット
		「パソコンでデータ活用をスムーズに」 「牛乳パックリサイクルによる 保健指導用小物」	オホーツク 中川美樹氏 とねっこ 佐藤光子氏 菅原順子氏・新保寿恵氏	松山あしの会・葉の会・とねっこ ポプラ・オホーツク 胆振保健サークル
	2001年 (H13年) 第34回集会 (温根湯) 参加人数100人	「子どもの学びを育てる総合学習 ＝総合楽手を育てる視点＝」 和光学園 和光小学校 和光鶴川小学校校長 行田稔彦氏 ◆全養サ第31回 (名)	1、保健室を中心とした取り組み 2、保健の組織活動をすすめるために 3、今、学校保健は	1、「今伝えたい『脳』の最新情報」 留辺薬町小助川クリニック 小介川 治氏 2、「家族について考える -子育てって大変ですか?」 生田原町北光学園園長 米内山邦子氏
		実践の広場		フリーマーケット
		「あったら便利!健康診断・救急処置グッズ」 「楽しく・わかる・ほけんだより」 「給食タイムを利用したミニ保健指導」 「誰でも簡単らくちん似顔絵」 ビデオ「青春が止まる瞬間」	葉の会 芋の会 間山純子氏 とねっこ 國保いずみ氏 ほっぺ 土肥絹栄氏 葉の会 高松葉子氏	あらぐさ・葉の会・十勝葎の会 とねっこ・ポプラ・オホーツク 翔く會
	2002年 (H14年) 第35回集会 (比布) 参加人数126人	「子どもの脳の発達を解く」 北大医学部機能分子分野・科学技術 振興事業団CREST研究員 澤口京子氏 ◆全養サ第32回 神奈川(名)	1、保健室を中心とした取り組み 2、保健の組織活動をすすめるために 3、今、学校保健は	1、「子どものからだの問題(危機)と取り組み ～データから課題を読みとる～ 日本体育大学講師 野井真吾氏 2、「語り『昔話の世界』」 旭川おはなし会会長 上森伸子氏 3、「ゆったり聞こう・創ろう 楽しい工作教室」 絵本画家 堀川 真氏
		実践の広場		フリーマーケット
		「季節の掲示物をいっしょに作りませんか」 「北瑛を丸ごと食べる」 「不思議な絵本の紹介、 保健指導の時に活用できます」 「パソコン紙芝居～パワーポイントを使って」	ほっぺ 長澤康香氏 葉の会 渋谷和子氏 輪っ子 加藤玲子氏 あらぐさ 内田慶子氏	あらぐさ・胆振保健サークル オホーツク・とねっこ・葉の会 ポプラ・輪っ子
	2003年 (H15年) 第36回集会 講演会(札幌) 参加人数213人	日本体育大学名誉教授 正木健雄氏と元養護教諭 坂本玄子氏による 講演会を実施 「日本の子どものからだど心の変化について ～最新データから教育・養護の課題を考える～」 日本体育大学名誉教授 正木健雄氏 「養護教諭の歴史とこれから」 元養護教諭 坂本玄子氏		フリーマーケット 南宗「幹」・ふれっぷ 輪っ子・ポプラ
		実践の広場		フリーマーケット
	2004年 (H16年) 第37回集会 (宗谷) 参加人数173人	「いま、子どもの性と生を育てるとは」 人間と性教育研究協議会 代表幹事 村瀬幸浩氏 ◆全養サ第34回 三重(名)	1、保健室を中心とした取り組み 「子どもたちへ伝えたい ～『からだ教室』ができるまで～」 2、保健の組織活動をすすめるために 「どの子にも教育を」 3、今、学校保健は 提起「北見の就学時健診について」	留萌ほっぺ 長澤康香氏 胆振保健サークル 毛利和子氏 オホーツク 渡辺朋子氏 ※ 2日日程で実施。講座なし
実践の広場		フリーマーケット		
	「北海道保健サークルの歴史をひもとく」 「第18回健康教育世界会議に出席して」 「保健委員会作成ビデオ ～しもやけ予防・閉鎖療法～」 「とっても簡単なラミネート身長計」 「待たれる掲示物を作れたらいいのにな」	ポプラ 齋藤由利子氏 葉の会 渋谷和子氏 輪っ子 種市倫江氏 南宗「幹」 吉田里香子氏 芋の会 畑中律子氏	輪っ子・ポプラ・葉の会 松山あしの会・芋の会・南宗「幹」 ふれっぷ・とねっこ	

テーマ	年	講演	分科会	講座
地域に根ざした健康教育の創造をめざして	2005年 (H17年) 第38回集会 (帯広) 参加人数112人	「Children First 子どもと向き合う ために～児童虐待への理解と支援から～」 北海道大学大学院教育学研究科 教育学部教育臨床講座教授 田中康雄氏 ◆全養サ第35回 福島(610名)	1、保健室を中心とした取り組み 「保健室は誰のものから保健室に 居場所を求める子どもたちと過ごして～」	葉の会 緒方真智子氏
			2、保健の組織活動をすすめるために 「教職員・保護者とともにすすめる健康教育 ～基本的な生活習慣の確立にむけての取り組み～」	オホーツク 松澤智子氏 報告 希の会 佐藤敬子氏
			3、今、学校保健は	
	実践の広場			フリーマーケット
	「LDの疑似体験をしてみよう」		十勝葦の会 吉藤さゆり氏・時森貴子氏	輪っ子・ポプラ・葉の会
	「保冷剤の作成を実演します」		輪っ子 松山和子氏	芋の会・とねっこ・十勝葦の会
	「予期せぬ地震～私の場合～」		留萌ほっぺ 土肥絹栄氏	
	「グラッサー博士の『選択理論』を土台とする リアリティセラピー(現実療法)を学んでみませんか?」		十勝葦の会 太田優子氏 宮坂陽子氏・遠藤秀子氏	
	2006年 (H18年) 第39回集会 (ニセコ) 参加人数 94人	「子どものうつ ～その心に何が起きているのか」 北海道大学大学院医学部研究科 助教授 精神医学分野 傅田健三氏	1、保健室を中心とした取り組み 「掲示物で保健教育!」	とねっこ 國保いずみ氏
			2、保健の組織活動をすすめるために 「自己の性行動を考える性の指導」 ～地域との連携を通して～	網の会 相馬優子氏
			3、今、学校保健は	座談会
	実践の広場			フリーマーケット
「嘔むといいことが、いっぱいあるよ」		ポプラ 溝口啓子氏	輪っ子・ポプラ・葉の会	
「コバタとタバコ」		常任委員会 葉の会 高松葉子氏	希の会・とねっこ。ふれっぷ	
「修学旅行乗り切り術～忙しくても備えあれば」		葉の会 関 奈美子氏	南宗「幹」・芋の会	
「日本初の骨髄バンクを作った人」		網の会 成田文子氏・相馬優子氏	常任委員会	
2007年 (H19年) 第37回集会 全養サ 北海道研究会 第40回集会 (帯広) 参加人数483人	「学ぶ喜びと命へのまなざし」 元足立区立第四中学校 夜間学級勤務 松崎運之助氏	1、養護教諭がとらえるからだの実態	1、子どもたちが私の先生 ～心をつなぎどう育ちあうか～ 元北星余市高等学校 青少年自立支援センター 「ビバの会」運営委員長 安達俊子氏	
		2、健康認識を育てるために ①小学校 ②中学校 ③高等学校 ④性教育	2、セクシャルヘルスを性教育の基盤に 性教協代表幹事 千葉大・都留文科大・横浜国立大 講師 関口久志氏	
		3、保健室を中心とした子どもとのかかわり 4、子どもの自治活動をすすめるために 5、みんなですすめる学校保健 6、子どもと養護教諭をめぐる 情勢とその実践	3、児童虐待から子どもを守る DCI(子どもを守る国際組) 札幌セッション 弁護士 内田信也氏	
実践の広場				
「誰でも簡単 らくちん似顔絵」		ポプラ 水木絹栄氏	4、日本の子どもたちを元気にしたい! 北海道大学大学院教育学研究院 人間発達科学分野 教授 水野真佐夫氏	
「全校集会 歯の保健指導」		ポプラ 溝口啓子氏	5、アイヌ文化と子どもたちの生活 ～アイヌの子育て観に学ぶ～ 札幌大学文化学部 教授 本田優子氏	
「お話、でてこい……」		輪っ子 松山和子氏	6、マイノリティ歴30年・現在進行形 ～男性養護教諭の現状と未来?～ 美深町仁布小中学校 養護教諭 横堀良男氏	
「定時制高校の禁煙推進DVD ～コバタとタバコ～		葉の会 高松葉子氏	7、「YOSAKOIソーラン」を踊ろう YOSAKOIチーム「パーキングロッツ」代表 北海道帯広養護学校 教諭 中村光宏氏	

テーマ	年	講演	分科会	講座
地域に根ざした健康教育の創造をめざして	2008年 (H20年) 第41回集会 講演会(札幌) 参加人数180人	新札幌サンピアザ劇場にて講演会を実施 「家庭裁判所の事件から見る家族の変容～迷走する子どもたちと大人の責任～」 弁護士 DCI札幌セクション 内田信也氏 「小さな声を受けとめていますか？」 シンガーソングライター、エッセイスト こんのひとみ氏 ◆全養サ第38回 埼玉(538名)		フリーマーケット 胆振保健サークル・十勝葦の会 とねっこ・葉の会・常任委員会
	2009年 (H21年) 第42回集会 (洞爺湖) 参加人数 93人	「子どものシグナルに学ぶ 教育相談の課題」 大阪千代田短期大学学長 広木克行氏 ◆全養サ第39回 京都(660名)	1、保健室を中心とした取り組み 「子どもの実態から出発する保健指導 ～健康診断の時間を使った『からだの話』」 ふれっぷ 和田千鶴子氏 2、保健の組織活動をすすめるために 「知的障がい特別支援学校での保健指導 ～一人ひとりが主人公になれる場としての児童生徒会活動」 葉の会 照山美由紀氏 3、座談会 「今、学校保健は」	フリーマーケット
		実践の広場		フリーマーケット
		「健康診断の実施はミスなく、サクサクと」～的確実施と 指導の広がりを求めて、保健プリントの工夫の積み重ねから～ 葉の会 関 奈美子氏 「旅行的行事を健康に！！」～健康管理のための取り組み ポプラ 齋藤由利子氏 手作り『手洗いチェッカー』 羊蹄山麓芋の会 真貝泰子氏 「感染性胃腸炎の感染予防の対応で 『おう吐児童発生時』におそうじマン登場！！」 胆振保健サークル 小形尚子氏		ポプラ・とねっこ・檜山あしの会 葉の会・あらぐさ・胆振保健サークル 常任委員会
	2010年 (H22年) 第43回集会 (根室中標津) 参加人数146人	「今を生きる子どもたちの 自己肯定感」 立命館大学教授 高垣忠一郎氏 ◆全養サ第40回 東京(名)	1、保健室を中心とした取り組み 「自分の生活を見つめ直し、望ましい生活習慣を身につけた 児童生徒の育成～保健室でできること～」 釧路翔く会 瀧本あゆみ氏 2、保健の組織活動をすすめるために 「ツナガルチカラ・ツナゲルチカラ ～地域保健師と連携した思春期保健推進の取り組み～」 十勝葦の会 駒井亜希子氏 3、座談会 「今、学校保健は」 「養護教諭実践のまとめ方と学習」 胆振保健サークル 白井孝子氏	フリーマーケット
		実践の広場		フリーマーケット
		「保健委員会のとあるDVD」 ポプラ 内田慶子氏 「ペットボトルのキャップを集めて、ワクチンを届けよう！」 広がれ空知輪っ子の会 種市倫子氏 「手作り教材で体の楽手をもっと楽しく」 あらぐさ 森山知歩氏 「中学校保健行事にぶらす保健プリントのちょこっと資料紹介」 葉の会 関 奈美子氏		ポプラ・広がれ空知輪っ子の会 あらぐさ・十勝葦の会・テンロップ 胆振保健サークル・常任委員会
	2011年 (H23年) 第44回集会 (札幌) 参加人数157人	「シュガー社員にさせない子どもへの接し方 ～自立型人材の育成方法とは～」 田北社会保険労務士事務所所長 田北百樹子氏 ◆全養サ第41回 岡山(538名) <レポート発表> ・第2分科会 加藤由紀氏 ・第5分科会 駒井亜希子氏	1、保健室を中心とした取り組み 「広く深く なが～く進め 性教育 ～全校読み聞かせ性教育と第4学年体育科における性教育の取り組み」 羊蹄山麓芋の会 鈴木典子氏 2、保健の組織活動をすすめるために 「チーム支援と保健室のかかわり ～機能するチーム支援を目指して～」 渡島網の会 小林恵子氏 3、座談会 「今、学校保健は」	フリーマーケット
		講座		フリーマーケット
		1、「漢方から学ぶ病気の予防 ～21世紀の漢方学～」 北海道医療大学准教授 堀田 清氏 2、「運動と心の健康」 北海道大学大学院教育研究院教授 水野真佐夫氏 3、「全国養護教諭サークル協議会の歴史と果たした役割」 全国養護教諭サークル協議会事務局長 舟見久子氏		胆振保健サークル・羊蹄山麓芋の会 葉の会・十勝葦の会・あらぐさ 常任委員会

テーマ	年	講 演	分科会	講 座
地域に根ざした健康教育の創造をめざして	2012年 (H24年) 第45回集会 (釧路) 参加人数157人	「特別支援教育のこれから ～連携をキーワードにして～」 北海道教育大学釧路校准教授 二宮信一氏 ◆全養サ第42回 神奈川(557名) <レポート発表> ・入門講座 白井 孝子氏 ・第5分科会 齋藤由利子氏	1、保健室を中心とした取り組み 「私の保健室と子どもたちから高校生の現状～」 オホーツク 永田美由紀氏 2、保健の組織活動をすすめるために 「幼児期における食育について」 ポプラ 加藤由紀氏 3、座談会 「今、学校保健は」	
		講 座	フリーマーケット	
		1、「ふまねっと運動と子どもの運動発達支援」 北海道教育大学釧路校 教授 北澤一利氏 2、「危ない！子ども・若者の生活習慣&レッツ！ヒップホップ！」 釧路市健康推進課 主幹 佐藤千代子氏 ネクストジャパン株式会社 西谷 純氏 3、「生きづらさを感じている子どもへの支援」 NPO法人地域生活支援ネットワークサロン理事 地域セーフティーネット統括コーディネーター 高橋信也氏		胆振保健サークル・あらぐさ 十勝葦の会・渡島網の会 釧路翔く会・釧路希の会 常任委員会
	2013年 (H25年) 第46回集会 (大沼) 参加人数 86人	「現代社会における多様性と コミュニケーション～文化的少数派 集主流化を考える～」 藤女子大学教授 伊藤明美氏 ◆全養サ第43回 大阪(593名)	1、保健室を中心とした取り組み 「自立を支援する保健室経営とは？～健康・生活・精神・経済の自立が できる生徒をめざして まるごと枝幸高校・まるごと枝幸町～」 葉の会 平田実千子氏 2、保健の組織活動をすすめるために 「子どもにやさしい学校を創る」～全校保健室化が私の願い～ ポプラ 齋藤由利子氏 3、座談会 「今、学校保健は」	
		講 座	フリーマーケット	
		1、「聞き上手になろう」 親業訓練インストラクター 野崎和子氏 2、「切り絵を楽しもう」 切り絵教室主宰 船木逸子氏 3、「からだと心を開放しよう」 フィットネスインストラクター 蛭沢亮太氏	葉の会・日高とねっこ・渡島網の会 胆振保健サークル・檜山あしの会 羊蹄山麓芋の会・常任委員会 本のカナリア	
	2014年 (H26年) 第47回集会 (旭川) 参加人数128人	「子どものシグナルが見えますか ～子どもたちのいじめ・自殺を 受けとめながら～」 元中央大学教授 臨床心理士 横湯園子氏 ◆全養サ第44回 東京(名)	1、保健室を中心とした取り組み 「保健室からの発信」～職員向け通信で伝える・広げる・耕す～ 広がれ空知輪っ子の会 宮腰里佳氏 2、保健の組織活動をすすめるために 「みんながつながる、あたたかい学校づくりをめざして」 檜山あしの会 笹谷亜希子氏 3、座談会 「今、学校保健は」 4、座談会 「私とサークル活動」	
		講 座	フリーマーケット	
		1、先生のための元気アップ～絵本deココロのサプリメント～ 笑華尊塾 塩谷隆治氏 2、「腸もみ&ウォーキングエクササイズで、健康美人をめざそう」 インテスタージュセラピスト ウォーキングスタイリスト MICHIO氏 3、「日本最北の精神科医クリニック 地域精神医療の現場から」 あべクリニック 創価大学教育学部教授 阿部恵一郎氏	日高とねっこ・ポプラ・十勝葦の会 あらぐさ・広がれ空知輪っ子の会 胆振保健サークル・檜山あしの会 葉の会・常任委員会	
	2015年 (H27年) 第48回集会 (帯広) 参加人数188人	「子どもの見る力を育てるアセスメント支援 ～読み書きが苦手になることを 少しでも防ぐために～」 大阪医科大学LDセンター オプトメトリスト 奥村智人氏 ◆全養サ第45回 京都(270名)	1、保健室を中心とした取り組み 「保健日よりで高校生に伝えたいこと」 ポプラ 小岸 泉氏 2、保健の組織活動をすすめるために 「学校づくりの中で養護教諭として何ができるのか ～全職員で取り組む特別支援を通して～」 葉の会 中村文恵氏 3、座談会 「今、学校保健は」	
		講 座	フリーマーケット	
		1、「子どもの育ちと学びを支えるために ～子ども・家族の危機に立ち会い、支える～」 帯広市立大空小学校教諭 北川和博氏 2、「フィジカルアセスメントシートを使った学校事故への対応」 あじろ子どもセンター主任指導員 細谷優子氏 北海道帯広三条高等学校養護教諭 伊藤千香子氏	ポプラ・あらぐさ・胆振保健サークル 南宗「幹」・広がれ空知輪っ子の会 日高とねっこ・十勝葦の会 常任委員会	

テーマ	年	講演	分科会	講座	
地域に根ざした健康教育の創造をめざして	2016年 (H28年) 第49回集会 (ニセコ) 参加人数 81人 <現地> 羊蹄山麓芋の会	「養護教諭の未来を見据える ～教育改革の中で問われる専門性と機能～」 愛知教育大学 学長 後藤ひとみ氏 ◆全養サ第46回 東京(275名)	1、保健室を中心とした取り組み 「気づきの目(芽)を育てる保健室からの発信～アレルギー対応を通して～」 胆振保健サークル 多田恵子氏 2、保健の組織活動をすすめるために 「組織の中の保健室～養護教諭がつなぐ、広げる」 十勝葦の会 中山知美氏 3、座談会 「今、学校保健は」		
			講座	フリーマーケット	
		1、「なるほど男子思春期教室」 社会福祉法人 済生会小樽病院 診療部長 堀田浩貴氏 2、「先輩養護教諭から実践を学ぼう!～いのちの学習の実践から～」 札幌市立屯田南小学校 養護教諭 筑地優子氏 3、「子ども達の力を引き出すカラーセラピー」 小樽市立望洋台中学校 養護教諭 八幡睦実氏 実践の広場(芋の会)		胆振保健サークル・日高とねっこ 十勝葦の会・広がれ空知輪っ子の会 羊蹄山麓芋の会・常任委員会	
		1、性の健康教育だより「つながり」をつかった取り組みの紹介 2、子どもが喜ぶ掲示物作成の極意の伝授			
	2017年 (H29年) 第50回 記念集会 (登別) 参加人数 75人 <現地> 胆振保健サークル	「人間賛歌の健康教育をめざして ～サークルとともに50年～」 聖カタリナ大学人間健康福祉学部 教授 山本万喜雄氏 ◆全養サ第47回 岡山(265名)	1、保健室を中心とした取り組み 「保健室の役割～今の自分にしていること」 ポブラ 山田恵美氏 2、保健の組織活動をすすめるために 「より豊かな生き方ができる性教育をめざして」 南宗「幹」 竹森聡子氏 3、座談会 「今、学校保健は」		
		講座		フリーマーケット	
		1、「シンポジウム～北海道保健サークルを語る」 葉の会 渋谷和子氏 とねっこ 菅原順子氏 輪っ子の会 種市倫江氏 2、「あなたのことは伝えますか? ～今日から使えるコミュニケーションスキル～」 子育てサポートSAMAYOKA主宰 菅原香織氏 3、「美・メイクBODY～からだどこもおエクササイズ」 健康運動指導士 美・メイクBODYトレーナー 佐伯とも恵氏		胆振保健サークル・十勝葦の会 広がれ空知輪っ子の会・南宗「幹」 羊蹄山麓芋の会・あらぐさ 常任委員会	
	2018年 (H30年) 第51回集会 講演会(札幌) 参加人数101人	札幌医科大学講堂にて講演会を実施 「つながり過剰症候群の時代～流動化する人間関係の光と影」 筑波大学教授 土井隆義氏 「一人ひとりが、みんなたいせつ～子どもの心に気づくとき～」 児童文学作家 くすのきしげのり氏 ◆全養サ第48回 神奈川(232名)			※会場での販売ができず、サークルの 広場はなし ※閉会式終了後、 くすのき氏のサイン会を実施
	2019年 (H31・R1年) 第52回集会 (岩見沢) 参加人数 96人 <現地> 広がれ空知 輪っ子の会	「WYSH教育で子どもたちに 伝えたいこと・つけたい力」 京大大学学際融合教育研究推進センター グローバルヘルス学際融合ユニット 教授 木原雅子氏 ◆全養サ第49回 京都(213名)	1、保健室を中心とした取り組み 「『知らないこと』は高校生でもやっぱり怖い! ～“自分の身体の主人公は自分”であるための歯科保健指導～」 葉の会 長野雄樹氏 2、保健の組織活動をすすめるために 「保健室からの応援～SCとの協働支援をとおして～」 羊蹄山麓芋の会 押切ひろみ氏 3、座談会 「今、学校保健は」		
				フリーマーケット	
	1、「発達障がいを持つ児童生徒の困り感に寄り添って」 岩見沢市立総合病院 小児科医 藤根美穂氏 2、「掲示物から保健指導を」 元養護教諭 國保いずみ氏 3、「からだを開き・心を開く」 整体師・笑いヨガ普及員 伊藤かよ子氏 実践の広場(輪っ子)		胆振保健サークル・羊蹄山麓芋の会 とねっこ・南宗「幹」 十勝葦の会・広がれ空知輪っ子の会 常任委員会		
	1、アロマハンドトリートメント 2、六角返し、絵本を活用した保健指導の実践				